

# イベント学会

## 2023 年度第 1 回理事会・通常総会 議案書

2023 年 6 月 13 日（火）

16:00～17:30

於：全国中小企業振興機関協会会議室および学会 zoom アカウント

### 審議事項

- 第 1 号議案 「2022 年度事業報告」承認の件
- 第 2 号議案 「2022 年度収支決算」承認の件

### 報告事項

- 1. 2023 年度事業計画について
- 2. 第 26 回研究大会(特別大会)について
- 3. TEAM EXPO について
- 4. 地域本部活動について
- 5. 機関誌について
- 6. 研究助成について

## 第1号議案 「2022年度事業報告」承認の件

### I. 事業に関する事項

#### (1) 第25回研究大会

第25回研究大会について以下の概要で実施した。

- 名 称：第25回イベント学会研究大会
  - テーマ：20世紀の豊かさから21世紀の豊かさへ。Well Beingな社会をデザインする、創造的かつ持続可能なイベント産業を目指して
  - 実行委員長：信時正人（イベント学会理事／ヨコハマSDGsデザインセンター長）
  - 開催日：2022年11月12日（土）・13日（日）
  - 会 場：ビジネスエアポート横浜 カンファレンスホール（神奈川県横浜市西区高島1-2-5 横濱ゲートタワー3F）およびオンライン
  - 参加費：会員：5,000円（共催/後援団体会員含む）／非会員：7,000円／学生・大学院生：3,000円
  - 主 催：イベント学会
  - 共 催：一般社団法人日本イベント産業振興協会、一般社団法人日本イベント協会、日本イベント業務管理士協会
  - 後 援：横浜市地球温暖化対策本部、2027年国際園芸博覧会協会
- ※詳細は別紙報告書参照

#### (2) 地域本部

##### ①東日本地域本部

本部長：町田誠理事 副本部長：岡星竜実理事  
事務担当：田中力会員、加藤修会員、加藤茂男会員

#### 実施事業1：イベント学会 東日本地域本部「2023 新年の集い」

##### 1) 開催趣旨

会員の交流と新規会員および新規賛助会員獲得につながる事業という地域本部事業の目的を踏まえつつ、2020年以降2年以上、新型コロナウイルス感染症が蔓延する社会環境下で多くのイベント等が抑制されてきたことに鑑み、これからのイベントロジの展開を展望しながら新年の集いを開催した。

東京で開催された2020東京オリ・パラの振り返りとして、レガシーをどのようにTOKYOの将来像にダイナミックに活かしていくか、またスポーツによる地域づくりの可能性を探った。また、未来に向けて、イベントロジを担う若い力がイベントの本質・コアを進化・深化させる「イベント大学」の構想について、ディスカッションを行った。

併せて、東日本地域本部新年会を開催した。

## 2) 日 時

2023 年 1 月 21 日 (土) 13:30～18:30

## 3) 場 所

東京都立清澄庭園 大正記念館 (東京都江東区清澄二丁目・三丁目)



## 4) 構 成

Session1 テーマ: The 2 Years After TOKYO2020～東京オリ・パラのレガシーをレビューし、スポーツまちづくりを語る～

モデレーター: 東日本地域本部長 町田 誠

プレゼンター:

- ①日本体育大学スポーツマネジメント学部教授、スポーツジャーナリスト 松瀬学氏
- ②スポーツ参加に向けた TOKYO 戦略 (仮) 上智大学名誉教授 師岡文男氏
- ③レガシーを体現するスポーツまちづくりー大田区の展開ー (仮) NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット理事長 桑田健秀氏 (ご欠席)

Session2 テーマ: 新春初夢企画 構想! 妄想? 「イベント大学」

モデレーター: 東日本地域副本部長 岡星竜美

プレゼンター:

- ①日本映画大学映画学部映画学科准教授 藤田直哉氏
- ②宝塚大学東京メディア芸術学部メディア芸術学科教授(学部長) 渡邊哲意氏
- ③東京富士大学イベントプロデュース学科教授 北原 隆氏

Session3 東日本地域本部新年会



## 実施事業2：全国都市緑化仙台フェア 2023 への「宇宙植物テーマガーデン」出展準備

2021 年度イベント学会研究助成を受けた「宇宙を旅した植物群を活用した地域づくり イベントの研究・企画提案」研究成果報告書を受けて、2023 年 4 月 26 日から 6 月 18 日まで開催される全国都市緑化仙台フェア会場において実施される出展のうち、「宇宙植物」の屋外展示を東日本地域本部のクレジットで行うためのプランター（7 基）の資材購入等の準備を行った。

展示作業については、仙台大学附属明成高校、宮城県農業高校、七ヶ浜町等からの材料提供を受け、第 40 回全国都市緑化仙台フェア実行委員会、国営みちのく公園管理センター、青葉山エリアマネジメント共同体の協力、民間企業からの協賛を得て、東日本地域本部会員有志により 2023 年度に行うこととした。



宇宙植物ガーデン設営完了！（作業 2023.4.22-23）



### ②中部地域本部

本部長：谷喜久郎理事 副本部長：古澤礼太理事  
事務担当：原田伸介会員

## 実施事業1：SDGs 異業種情報交流会「第6回大人のためのSDGs 街cafe」開催

日時：2022 年 11 月 20 日（日曜日）15：00～18：00

会場：WASHITA MINO

内容：

- ・美濃和紙の里 15：00～ サスティナブルトラベル KAIDO 街道  
「うだつの上がる町並み」の街歩き  
17：00～「春夏秋冬ひととせ「工芸遊山 in 美濃」  
～紙商の街での「工芸夜咄」～

- ・話題提供 「美濃和紙文化を支えた紙商と未来について」

美濃和紙 丸重製紙代表 辻晃一氏

- ・活動紹介 「遊山」～日本人の野山に遊ぶ文化について～

面影座代表 小嶋伸吾氏

- ・「工芸遊山」～現代の暮らしと工芸について

瀬戸本業窯 水野雄介氏 八代半次郎後継

- ・「点心茶会」/日本人の暮らしと節句～冬至について

茶人・和の衣食住スタイリスト 鳴海彩詠氏

- ・ワンミニ・アクション（インタビュー形式による参加者1分間スピーチ）

参加人数：30名

### ③西日本地域本部

本部長：宮本倫明理事 副本部長：信時正人理事、川井徳子会員

事務担当：井野良子会員

2022年度は「TEAM EXPO」の共創プロジェクト「関西・歴史文化首都フォーラム」の立ち上げおよび推進を行なった。事業報告は別項目「TEAM EXPO」参照。

## （３）研究助成

2023年度研究助成の募集を行い、一般、学生、各1件の研究を採択した。

選考委員：橋爪紳也理事・副会長（委員長）

野川春夫理事・副会長、福井昌平理事・副会長、師岡文男理事

### ①一般助成：サステナブルなイベント運営に向けた行動科学及びナッジな活用に関する研究

申請者氏名：植竹香織

研究期間：2023年3月1日～2024年2月29日

助成金額：300,000円

### ②学生助成：マスターズスポーツイベント参加者の大会満足度と幸福感：社会化パターンに着目して

申請者氏名：岩本綾乃

研究期間：2023年3月1日～2024年2月29日

助成金額：100,000円

#### （４）機関誌「イベント学研究」

イベント学会機関誌『イベント学研究』第6巻を編集し、発行した。

発行：2023年3月31日

編集委員長：師岡文男理事（委員長・全体総括、研究大会報告担当）

編集委員 萩裕美子理事（副委員長・研究論文担当）

信時正人理事（研究大会報告担当）

宮本倫明理事（地域本部報告担当）

守屋慎一郎理事（TEAM EXPO・事務局情報報告担当）

#### （５）広報事業（オンライントーク）

2021年1月より開始したオンライントークについて、2022年度は以下を実施した。

	日程	曜日	担当	ゲスト	タイトル
Vol. 23	6月29日	火	守屋	マヌー島岡（フランボネ）	漫才で覚えるSDGs—お笑いを通じた社会問題の解決—
Vol. 24	8月9日	水	守屋	清水和輝	Z世代が切り拓く・『昆虫食』で達成するSDGs

#### （６）ウェブサイト改訂

昨年度に引き続き小規模な修繕を行なった。修繕点は以下のとおり。

- ・研究大会ページの情報更新およびアーカイブ情報の一部修正
- ・TEAM EXPO ページの新設
- ・プルダウンメニュー等の整理

編集：守屋慎一郎理事・副事務局長

#### （７）顧問会議（JACE 交流会）

一般社団法人日本イベント産業振興協会（JACE）との交流会について、以下の通り開催した。

日時：2021年10月24日（月）18:00～20:00

会場：日比谷「シーボニア」

出席：JACE 石井会長、成田相談役、津川専務、中尾常務

イベント学会 中村会長、福井副会長、野川副会長、橋爪副会長、  
上代事務局長、守屋副事務局長

内容：1）イベント学会2022年度事業計画のご紹介

2）両団体の連携についての意見交換

## （８）TEAM EXPO

大阪・関西万博が推進する「TEAM EXPO」について、（一財）地球産業文化研究所と連携し、共創パートナーとして参加するものとした。同研究所と基本協定等を締結、合同で企画委員会を設置したほか、「関西・歴史文化首都」「水と流域・地球市民対話」「世界自然遺産」をテーマとする共創チャレンジを推進した。

詳細は別紙報告書参照。

## Ⅱ．運営に関する事項

### （１）総会・理事会・運営会議等

総会、理事会、運営会議等を以下のとおり開催した。

会長、事務局による個別報告会、事務局のみによる会議等はこれを省略す。

開催日	種別	主な議題
4月5日	第1回運営会議	1) 第25回研究大会について（基調講演者の御相談） 2) 通常総会議案書（2021年事業報告および収支決算）について 3) 役員選挙について 4) 次回運営会議日程について
4月19日	第2回運営会議	イベント学会と（一社）地球産業文化研究所の共同による、大阪・関西万博の「TEAM EXPO」への参加および、3つの共創プロジェクトを推進すること、3つのプロジェクトの企画調整を行うために企画委員会を設置、上記に関する「基本協定」および「実施事業契約」を締結することについて
6月10日	2022年度 第1回理事会総会	第1号議案 「2021年度事業報告」承認の件 第2号議案 「2021年度収支決算」承認の件 第3号議案 「理事・監事」選任の件 報告事項 2022年度事業計画 第25回研究大会など
6月10日	第2回理事会	第1号議案 役員の選任について
7月15日	第3回運営会議	1) 第25回研究大会について（進捗報告） 2) 地域本部活動計画について ①東日本地域本部（推進体制、活動計画、収支計画） ②中部地域本部（推進体制、活動計画、収支計画） ③西日本地域本部（推進体制、活動計画、収支計画） 3) 研究助成について（推進体制、2023年度募集要項） 4) 機関誌「イベント学研究」について（推進体制、第6巻論文募集要項） 5) TEAM EXPOについて（第1回企画会議開催報告） 6) ホームページについて（小規模修繕発注内容報告） 7) オンライントークについて（開催報告、今後の予定） 8) JACE 交流会について（開催時期等のご相談） 9) 事務局委託について（2022年度契約書確認） 10) 2022年度会費請求書の発行について（報告） 11) 新規入会・退会承認および休会中賛助会員の取り扱いについて 12) 創立25周年についての意見交換



8 月 29 日	第 4 回運営会議	1) ウェブサイト改定について 2) 研究大会について 3) 25 周年記念行事について
10 月 24 日	第 5 回運営会議	1) 研究大会準備状況の報告 2) TEAM EXP0 進捗状況の報告 3) 25 周年事業の方向性協議 4) 上とあわせ、次回実行委員長の選任について 5) インボイス制度への対応について
12 月 14 日	第 6 回運営会議	1) 第 25 回研究大会の収支報告 2) 2022 年度イベント学会全体の収支状況報告 3) 各地域本部の活動報告 4) 2023 年度事業計画（素案）について 5) 第 26 回研究大会について
3 月 3 日	第 3 回理事会	第 1 号議案 「2023 年度事業計画（案）」について 第 2 号議案 「2023 年度事業予算（案）」について

## 第2号議案 「2022年度収支決算」承認の件

### (1) 収支計算書

#### 令和4年度 収 支 計 算 書

自. 令和4年4月1日 至. 令和5年03月31日

イベント学会

収入の部

(単位:円)

科目	摘要	予算金額	決算金額	差引残高
前年度繰越金		3,886,798	3,886,798	0
入会金収入		(150,000)	(80,000)	(70,000)
	個人会員入会金	50,000	80,000	△30,000
	賛助会員入会金	100,000	0	100,000
会費収入		(5,610,000)	(5,587,000)	(23,000)
	個人会員年会費	1,800,000	1,785,000	15,000
	準会員年会費	10,000	2,000	8,000
	賛助会員年会費	3,800,000	3,800,000	0
事業収入		(2,600,000)	(1,827,000)	(773,000)
	研究大会	600,000	827,000	△227,000
	team expo	2,000,000	1,000,000	1,000,000
雑収入		(0)	(3,025)	(△3,025)
	雑収入	0	3,000	△3,000
	受取利息	0	25	△25
当期収入合計		(8,360,000)	(7,497,025)	(862,975)
収入合計		12,246,798	11,383,823	862,975

支出の部

(単位:円)

科目	摘要	予算金額	決算金額	差引残高
事業費		(5,825,000)	(5,125,384)	(699,616)
	研究大会	1,300,000	1,543,960	△243,960
	広報事業	100,000	20,540	79,460
	東日本地域	350,000	276,631	73,369
	中部地域	350,000	186,330	163,670
	西日本地域	350,000	563,170	△213,170
	ジャーナル発行	400,000	396,330	3,670
	ウェブサイト改訂	400,000	109,043	290,957
	研究助成	500,000	500,990	△990
	顧問会議・運営会議	75,000	78,220	△3,220
	team expo	2,000,000	1,450,170	549,830
管理費		(2,535,000)	(1,873,627)	(661,373)
	業務委託費	1,000,000	1,000,000	0
	会議費	150,000	69,744	80,256
	旅費交通費	100,000	27,510	72,490
	消耗品費	50,000	10,067	39,933
	通信運搬費	400,000	289,028	110,972
	資料作成・印刷費	300,000	55,623	244,377
	賃借料	400,440	400,330	110
	雑費	50,000	21,325	28,675
	予備費	84,560	0	84,560
当期支出合計		(8,360,000)	(6,999,011)	(1,360,989)
次年度繰越金		3,886,798	4,384,812	△498,014
支出合計		12,246,798	11,383,823	862,975

## (2) 主要増減

### ①収支全体について

全体としては収入、支出ともに予算を下回っており、特に管理費支出の削減により、次年度繰越金が 498,014 円増加する結果となった。また 2022 年度収入の一部（TEAM EXPO 精算払 449,840 円）が 4 月振込のため、実質上の単年度収支はプラス 947,859 円となっている。

### ②収入の部

入会金 : 個人会員について予定を上回る入会があった。賛助会員について、新規に TSP 太陽株式会社にご参加いただいた。

個人会員年会費 : 新規会員は増えているものの、退会者、未納者もありほぼ予算どおり。

賛助会員年会費 : 予算どおり。

研究大会参加費 : 参加登録人数の拡大により増額。

TEAM EXPO : 精算払の入金 が 4 月となったため 9 月の概算払までを計上。精算払いは交通費等の支出が予定より少なく 449,840 千円となる予定。

参考：現在会員数（2023 年 5 月）

種別	会員数	備考
個人会員	185	昨年度 177
準会員	1	昨年度 3
賛助会員	25	昨年度 26

### ③支出の部

#### <事業費>

研究大会 : 予算を上回るものの研究大会参加費の増額にてほぼ相殺。

東日本・中部・西日本地域本部 :

東日本、中部地域本部については予算内で執行。

西日本地域本部については 2021 年度経費の一部を 2022 年度に精算したため増額。

研究助成 : 2021 年度に募集、採択した 2022 年度助成金を執行。

機関誌発行 : 予算内にて実施。

広報事業 : オンライントークについて予定回数を下回ったため減額。

TEAM EXPO : 交通費等の実費について予算より減少。

顧問会議 : 概ね予算どおり。

#### <管理費>

業務委託費 : 予算どおり。

会議費 : オンラインの積極活用等により減少。

旅費交通費 : オンラインの積極活用、理事の協力等により減少。

消耗品費 : 大きな支出なく減少。  
 通信運搬費 : 電子書類の積極活用等により減少。  
 資料作成・印刷 : 電子書類の積極活用等により減少。  
 賃借料 : 予算どおり。

### (3) 口座残高

#### ①みずほ銀行

23--4--6振込 マチタ マコト	94,377	*1,598,946
23--4--6振込手数料	330	*1,598,616

#### ②ゆうちょ銀行

振替口座残高証明書	
口座番号	00120-0- 357450
加入者名	イベント学会
令和 5年 3月31日現在の口座残高	
*****2,786,196円	
上記のとおり証明します。	
令和 5年 4月 1日 ゆうちょ銀行	
このご案内につきまして、ご不明な点がございましたら、 お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで お問い合わせください。	

#### (4) 監査報告


イベント学会 会長 中村利雄 様

#### 監査報告書

イベント学会の2022年度(2022年4月1日より2023年3月31日)  
事業報告および計算書類は、適正かつ妥当であるものと認めます。

2023年6月6日  
イベント学会

監事 津川 敦

津川 敦 

監事 松平 輝夫

松平 輝夫 